

第42回 ふじみ衛生組合地元協議会 議事録(要旨)

- 1 開催日時 平成27年10月8日(木)18時30分から19時15分まで
- 2 開催場所 クリーンプラザふじみ3階研修ホール
- 3 委員出欠 出席 20人(欠席者7人)
出席委員 嶋田一夫(会長)、小林義明(副会長)、石坂卓也、小松日出雄、杉本正隆、鈴木和夫、
武谷宏二、田中一枝、埜義和、牧野隆男、増田雅則、安方二郎、山添 登、
山田知英美
井上稔(副会長)、齊藤忠慶、荻原正樹、深沢典允、清水富美夫、柏原公毅
- 4 出席者
事務局 土方 明、今村好一、岩崎 誠、大堀和彦
エコサービスふじみ株式会社 望月 博
パシフィックコンサルタンツ株式会社 吉留雅俊
- 5 傍聴者 0人

議事次第

- 1 開会
- 2 報告事項
 - (1) 第41回ふじみ衛生組合地元協議会議事録要旨について
 - (2) 施設の運転結果について
 - ① ごみ搬入・灰等搬出(平成27年4月～平成27年8月)について
 - ② 平成27年度の環境測定結果
(平成27年4月～平成27年8月)について
- 3 その他
 - (1) 第3回ふじみまつりについて
 - (2) 花いっぱいプロジェクト(コミュニティーガーデン)について
 - (3) 平成28年1月施設見学会について
 - (4) 武蔵野市の焼却施設定期整備工事に係わる可燃ごみの搬入について
 - (5) 次回日程
- 4 閉会

【配布資料】

- 【資料1】第41回ふじみ衛生組合地元協議会議事録(要旨)
- 【資料2-1】ごみ搬入・灰等搬出結果(平成27年4月～平成27年8月)
- 【資料2-2】平成27年度の環境測定結果(平成27年4月～平成27年8月)
- 【資料3】平成27年度ふじみまつり開催概要
- 【資料4】平成28年1月施設見学会資料
- 【資料5】武蔵野市の焼却施設定期整備工事に係わる可燃ごみの搬入についての
当日配付資料1 ふじみまつりチラシ
当日配付資料2 ふじみ衛生組合花いっぱいプロジェクト 花壇のコンセプト

1 開会

事務局 : 1 地元協議会元委員 元委員B氏訃報報告
2 配付資料確認

会 長 : それでは、以降、私のほうで進めてまいりたいと思います。

きょう、17名の出席を得ていますので、会議は成立いたしております。そのことを、まず報告申し上げておきます。

次第に従いまして、報告事項の1番目、議事録要旨について。事前に配付をいたしていますが、訂正、その他ご意見ございますか。配付の議事録でよろしいですね。

それでは、事務局から公開の手続きをお願いしたいと思います。

報告事項の2番目、「施設の運転結果について」からお願いします。

D委員 : それでは、①ごみ搬入・灰等搬出について、及び②平成27年度の環境測定結果について、ご報告させていただきます。資料は、資料番号2-1、2-2を使って説明をさせていただきます。

それでは、まず、①ごみ搬入・灰等搬出について、資料の2-1をごらんください。

まず、可燃ごみの搬入実績でございます。4月から8月までの5か月分でございます。三鷹市が1万2,046.49トン、調布市が1万4,025.69トン、リサイクルセンターからの可燃性残渣が3,182.09トン、相互支援によります武蔵野市からのごみが295.29トンとなっております。武蔵野市のごみを除いた三鷹市、調布市及びリサイクルセンターの残渣の合計が2万9,254.27トンとなり、昨年同期の実績が2万9,807.96トンでございますので、553.69トンのマイナスとなっております。これは、市民の皆様のごみの減量、リサイクルへの取り組みということで、大変感謝しておるところでございます。

続きまして、搬出実績でございます。4月から8月までの5か月分でございますが、焼却灰が2,580.57トン、飛灰が771.51トン、鉄分が90.30トンとなっております。焼却量は、5か月分で3万218.50トンでございます。昨年のこの時期の焼却量が2万9,906.33トンでございますので、焼却量は若干多目となっております。

続きまして、発電量でございますが、1万5,548.53キロワットアワーで、売電量が1万1,327.45キロワットアワーとなっております。

次に、リサイクルセンターのごみ処理実績でございます。三鷹市の搬入実績は、27年度が3,952.05トンでございます。同時期の26年度実績が4,011トンですので、前年同期比はマイナス58.95トンとなっております。調布市の搬入実績でございますが、27年度が3,736.60トン、26年度同時期が3,777.31トンですので、調布市も前年同期と比べ40.71トン減っております。両市合計で、前年同期

と比べ99.66トンのマイナスとなっております。可燃ごみも、リサイクルセンターで処理しているごみについても、減量が図られているところでございます。

続きまして、資源物の搬出実績でございますが、1点、修正をお願いいたします。上の段に、「26年度」と書いてございますが、「27年度」に、下の段に、書いてございます「25年度」ですが、これを「26年度」に修正をお願いいたします。

それでは、報告させていただきます。27年度の搬出実績は、7,417.60トンでございました。一方、この時期、26年度の搬出実績は7,565.58トンで、搬出実績のほうも前年同期比マイナス147.98トンとなっております。

特徴的な点を申し上げますと、ペットボトルでございまして、上の段、資源物搬出の真ん中のあたりですけれども、「ペットボトル梱包有」、「無」と書いている部分がございます。「ペットボトル梱包有」と申しますのは、ペットボトルを圧縮しまして、紐がけをして、搬出するものでございます。「ペットボトル梱包無」というのは、ペットボトルのまま、そのまま搬出するものでございます。27年度は「ペットボトル梱包無」というものがゼロでございまして、全量圧縮梱包を行って、搬出しております。一方、26年度につきましては、「ペットボトル梱包無」が72.83トンでございます。この差は、ペットボトルの圧縮梱包機でございすけれども、26年度、更新工事を行いまして、若干能力をアップしましたので、26年度はペットボトルを全て圧縮梱包ができております。以上がペットボトルに関する特徴点でございます。

続きまして、「資料2-2」平成27年度の環境測定結果でございます。前回の地元協議会以降、測定結果が出たものにつきまして網かけをしております。

まず、排ガスの測定でございます。6月、7月、8月と3か所に網かけがしてございます。まず、ばいじんでございますけれども、自主規制値0.01グラムに対しまして、全て0.001グラム未満ということでございまして、自主規制値または基準値を下回っております。

硫黄酸化物でございますが、10ppm以下に対しまして、一番小さいところで、6月の1号炉が1.1ppm、一番大きな数字では、7月の2号炉が6.1ppmということで、自主規制値または基準値の10ppm以下を下回っております。

続きまして、窒素酸化物でございますが、一番小さな数字が6月の1号炉で10ppm、一番大きな数字が8月の1号炉、2号炉の25ppmでございまして、こちらも主規制値または基準値の50ppm以下を下回っております。

続きまして、塩化水素でございますけれども、一番小さなところで、8月の2号炉0.3ppm、一番大きな数字が8月の1号炉の2ppmでございまして、こちらも主規制値または基準値の10ppm以下を下回っております。

続きまして、ダイオキシン類でございます。7月に1号炉、2号炉とも測定を行ってございまして、数字がたくさん並んでおりますので、数で申し上げますと、「0.」の後、ゼロが6つついております。1号炉が0.00000011、2号炉が0.00000071ということでございまして、0.1ナノグラム以下ということで、こちらも自主規制値または基準値を下回っているところでございます。

続きまして、水銀でございますけれども、全て0.004ミリグラム未満ということでございまして、自主規制値または基準値の0.05ミリグラム以下を下回っているところでございます。

続きまして、一酸化炭素でございますけれども、一番小さな数字が8月の2号炉で2ppm、一番大きな数字が7月の2号炉の16ppmということで、自主規制値または基準値の100ppm以下を下回っております。

続きまして、排ガス中の鉛、カドミウム、亜鉛でございますけれども、全て0.004未満でございます、各々の自主規制値または基準値を下回っているところでございます。

次に、騒音・振動・臭気・排水の測定の欄に移ります。今回は6月に臭気指数の測定を行っておりまして、その結果は10未満ということで、基準値の12以下を下回っているところでございます。また、排水につきましては、全て水質基準以下ということで、こちらも法令等を遵守しているところでございます。

続きまして、周辺大気の測定でございます。これは、7月のところに網かけがありまして、別紙の「平成27年度クリーンプラザふじみ周辺大気の測定（施設稼働前後の変化）」をごらんいただきたいと思っております。今回は、夏の時期ということで測定をしました。その結果が②の稼働後という欄でございます。場所につきましては、「三鷹市立南浦小学校」と調布市の「しいの木公園」で実施しております。いろいろな項目ございますけれども、①の稼働前と比べましてもプラスマイナスが少ないという結果が読み取れると思っております。施設の稼働に伴いまして、周辺大気への影響は与えていないというような結果となっております。

次に、放射能に関する測定でございます。今回は、焼却灰・飛灰につきましては、7月及び8月に測定を行っております。焼却灰につきましては、8月が16ベクレル、7月が18ベクレルでございます、地元協議会でお約束している自主規制値または基準値の4,000ベクレルを下回っております。飛灰につきましても、7月が138ベクレル、大きなところでは8月が173ベクレルということで、こちらも自主規制値または基準値の4,000ベクレル以下を下回っているところでございます。

続きまして、排ガスでございますけれども、6月の1号炉、7月の1号炉、2号炉、8月の1号炉、2号炉と5回測定を行っておりますけれども、いずれも不検出となっております。

排水につきましても、6月、7月、8月と実施いたしましたが、こちらも不検出となっております。

続きまして、空間放射線量率でございます。今回は7月、8月、9月の3か月分の測定結果が出ております。一番小さなところで0.05マイクロシーベルト、一番大きなところで0.08マイクロシーベルトということで、周辺の公共施設等とほぼ同様の数字となっており、ふじみ衛生組合だけが特に高いというような測定結果にはなっておりませんということで、ご安心いただきたいと思っております。

会 長 : ただいまの説明について、ご質問ございますか。どうぞ。

E委員 : 可燃ごみの搬入については安定して入っているんですけれども、焼却につい

てが、かなり変化しているというか、意図があると思うので、その焼却の仕方について説明していただけるとありがたいんですが。

D委員：搬入量が比較的毎月安定した数字、同じような数字に対しまして、焼却量はかなりばらつきがある。特に6月が極端に少なくなっているの、その辺のご説明ということでございます。

焼却炉のほうの運転につきましては、年間の運転計画を定めておまして、この6月につきましては、法定点検等を行うということで、かなりの期間、全炉停止、全ての焼却炉をとめて点検をすることにしております。したがって、6月につきましては極端に焼却量が減っているというようなことでございます。また、5月が若干少ないんですけども、これについてはごみ量の調整ということで、この5月には2炉稼働が少なく、1炉稼働が多かったというような状況によるものでございます。

会長：よろしいですか。

E委員：1年間の計画というのは、もう出ておられるわけですか。

D委員：1年間の計画につきましては、資料の2-2「平成27年度環境測定結果」の表の上を見ていただきたいと思います。1号炉、2号炉と書いてありまして、赤い線と黒い線が描いてございます。黒い線が運転計画でございまして、赤い線が運転実績でございまして、ですので、本日は10月でございまして、本日は2号炉だけが動いておまして、1号炉はとまっているというような状況でございまして、また11月3日以降になりますと、1号炉、2号炉両方とも動くような予定でございまして、そしてまた12月に全炉停止をいたしまして、点検を行う予定でございまして。

会長：はい、どうぞ。

E委員：前回、発電量という話がありまして、2炉運転のほうの方が効果があるんだというふうなことが言われていますので、それをベースにするとなると、焼却量みたいな形の目安というのがあるのかなと思ったんですが、それは、今、棒で引っ張っておられるんですけども、最適な処理量という部分があって、それを今度は点検のときに落とすと、年間で引っ張ってくる量というのは決まると思うので、その辺がわかると非常にありがたいんですが。

D委員：25年度につきましても、26年度につきましても、ごみの搬入量は7万トンぐらいです。ですので、この27年度の計画をつくるに当たりましても、年間大体7万トンのごみが入ってくるだろうということで運転計画をつくっております。E委員のおっしゃるとおり、2炉稼働のほうの方がより発電効率がいいわけですから、できる限り2炉稼働を増やすような形の計画を最適な計画というふうに考えているところでございます。さらに2炉稼働の期間を増やしたいのですが、現状の7万トンというごみの搬入量を踏まえますと、これ以上2炉稼働をふやすというのは、実際、難しいというところでございます。

会長：ほかになければ、次に進みたいと思いますが、よろしいですか。

それでは、施設の運転結果についてはご了解いただきまして、その他の1番目の第3回ふじみまつりについて、事務局からご説明いただきたいと思っております。

L委員 : ふじみまつりにつきましては、開催の概要と、それから、新たにチラシを席上配付をさせていただきました。

開催の概要につきましては、前回説明と大幅な変更はございませんので、これに沿って、今、進めているところでございます。経過といたしまして、今回、席上にご配付させていただきましたチラシができましたので、このチラシをこれから地域の皆様にお配りする、あるいは町会、自治会さんをお願いして、地域で掲示板等に張っていただくなど、これを使ってPR活動を進めていきたい、ご周知を進めていきたいというところで、今、進めているところでございます。

あと、チラシの中段のところでございます、これが今回のお祭りで考えている内容でございますので、このような盛りだくさんの内容を、引き続き皆様と一緒に盛り上げていきたいと思っております。この内容には概ね変更はなく、この内容で一日楽しんでいただきたいと思っております。

会長 : ありがとうございます。もう既に具体的な計画が進んでいますので、ふじみまつりに、ひとつできるだけ多くの参加をいただけますように、皆さんから働きかけをお願いしておきたいと思っております。

特によろしいですね、ほかに。C委員、どうぞ。

C委員 : ここは荒天時中止と書いてございますけれども、天気予報というのは最近非常に変化が多いものですから、午前中あるいは何時に時間を区切って、広報か何かのアナウンスか何かあるのでしょうか。それをちょっと確認したいです。

L委員 : 悪天時については、あまり予想はしていないところなんですけれども、何らかの形で皆さんにお伝えできるよう、今後、調整をとるように考えます。

会長 : 皆さん行いがいいから、私も晴れるだろうと思っておりますけれども。よろしいですか。

それでは、次に進んでまいりたいと思っております。2番目の花いっぱいプロジェクトについて、説明をお願いしたいと思います。

Q委員 : お手元のふじみ衛生組合花いっぱいプロジェクト花壇のコンセプトについて、こちらのチラシをご覧ください。

花いっぱいプロジェクトにつきましては、先般お知らせしているとおり、三鷹、調布の両市民のボランティアの方々、両市の緑と公園課、ふじみ衛生組合と一緒に進めていくプロジェクトでございます。市民ボランティアの方々、最終的に23人の方から応募いただきまして、花壇ボランティア講習会の中で専門家の指導を仰ぎながら、花壇のコンセプトや花壇づくりを進めているところでございます。第1回の8月25日から、9月15日、10月6日と、今まで、3回の講習会を実施しまして、その中で花壇のコンセプトが決まりましたので、これについてご報告したいと思います。

こちらにありますストーリーにつきましては、ふじみ衛生組合のイメージですとか、どういう施設であるのか、どういう施設にしていきたいのかなどなどが書いてあります。次のタイミングにつきましては、花をいっぱいにするタイミングがこちらになります。最後、メッセージにつきましては、花壇ボランティアの方々から、こういうコミュニティガーデンにしていきたいというメッセ

ージを込めてということで、このようなところとなっています。

最初のストーリーにつきましては、まずは安全・安心の施設であること、環境に配慮した施設、ごみ処理場ということで、少しネガティブなイメージがあり、少し殺風景というようなとられ方というところがありますので、これを外観から愛される施設にしたい。また、長年住民の方の協力をいただいて協議をして、いろいろな方がかかわってきた施設であること、今後、まちにいろいろ貢献していきたい施設であるというのがストーリーでございます。

続いて、タイミングにつきましては、6月に三鷹、調布の両小学校の施設見学をはじめ、施設見学が非常に多い時期になります。この時期に合わせて、花をいっぱいにしたい。また、ふじみ衛生組合としてはふじみまつりが一大イベントになりますので、11月22日のこのときに合わせて花をたくさんにしたいというところがタイミングでございます。

メッセージにつきましては、親しみやすい、憩いのある、居心地のよい、生き生きとした開放的な花壇にしていきたいというメッセージでございます。

タイトルと書いてありますが、これは赤字で記載した「さんちょうウエルカムガーデン」に決定したところでございます。「さんちょう」は、言うまでもありませんが、三鷹、調布の「さんちょう」で、三鷹、調布の2つの市によるウエルカムガーデンだということです。また、ウエルカムガーデン、英語になっておりますが、2020年のオリンピックでいろいろな海外の方々が来られるだろうということもありまして、このようなタイトルとしています。また、おもてなしということが、オリンピックのほうでもコンセプトでありましたので、それもあわせて、おもてなしの庭にしようということで、このようになっています。

その下に、4枚写真をつけてあります。既にお分かりかと思いますが、今、入り口に向って右と左に2つの花壇が設置してあります。右側につきましてはウエルカムガーデン、左側につきましてはカムガーデンと2つに分かれています。花壇ボランティアの方々、これは10月6日、今週の火曜日に作業をしていただいている風景を写真におさめたものです。その下のところが、作業後の木や花が植わっているところと、あと、黒土に腐葉土や赤玉などいろんな土をまぜて、花が育ちやすい状況にしているということでございます。この後、11月10日に第4回、最後の講習会がございまして、そちらのほうでたくさんのお花を植えて、完成するというところでございます。

会 長 : ありがとうございます。ご質問ございませんね。よろしいですか。西門のところ、帰りにごらんいただいて。今、途上ですので、これからいっぱいになっていくと思います。

それでは、なければ、次の3番目の平成28年1月施設見学会について、事務局からお願いします。

事務局 : それでは、資料の4をごらんください。

そこに2点ほど提案をさせていただきましたが、前回、資源化施設というご提案をいただきましたので、我々の資源化施設から出ているものということで、容器包装プラスチック製品のリサイクルとペットボトルのリサイクルというこ

とで調整をしてきましたけれども、容器包装プラスチック製品のリサイクル施設のほうは見学ができますが、ペットボトルのほうは時期的に難しいということでした。そのため容器包装プラスチック製品のリサイクル施設の見学の準備を進めています。具体的には、ジャパン・リサイクル株式会社、場所は千葉県千葉市中央区川崎町というところにございます。JFEスチール株式会社東日本製鉄所内にある施設でございます。この施設を、相手先の状況もございまして、1月19日に見学可能と相手先の施設からお話もございましたので、その日程で、進めているところでございます。詳細は、資料の1にある程度のことをまとめてございます。

それから、時程等につきましては末尾の7ページに書いてございますが、時間としては朝8時30分に、このふじみ衛生組合の駐車場を出発をして、ジャパン・リサイクル株式会社に10時ぐらいに到着予定でございます。そこで1時間半ほど施設見学をした後、またバスに乗りまして、海ほたるで約1時間弱の食事休憩をとった後に、ふじみ衛生組合に戻る。帰着につきましては、午後3時を目途にしております。

会 長 : ありがとうございます。

ご質問ございますか。焼却場ではないところという要望を受けまして、選んだ施設です。

(「年は」との声あり)

会 長 : 日にちが違っていたかな。

事務局 : 期日は28年1月でございます。申しわけありません。

会 長 : ああ、7のところね。来年の話です。今年では通り過ぎちゃった。訂正して、ご確認をいただきたいと思います。よろしいですね。ありがとうございます。

それでは、武蔵野市の焼却施設定期整備工事に係わる可燃ごみの搬入について、事務局どうぞ。

事務局 : それでは、資料の5をごらんください。

武蔵野市の焼却施設定期整備工事に係わる可燃ごみの搬入について、年度当初の4月第40回地元協議会で年間計画のご報告をさせていただいておりますが、その第2回の搬入でございます。期日としましては、10月12日月曜日から同月23日金曜日までの2週間で、月、火、木、金の週4日搬入となっております。時間帯としては、午前9時から午後4時。搬入量総計としましては、300トンでございます。搬入経路等につきましては、従前から組合が指定をしている搬入経路を通過して搬入するということでございます。搬入車両につきましては、従前どおり、ここにカラー写真を載せてございますが、この武蔵野市の委託車両が搬入してまいるということでございます。

会 長 : はい、ありがとうございます。これは報告ということで、次に進みたいと思います。次回日程について。

事務局 : 次回の日程でございますが、今回でこの期の委員の任期が終了いたします。そして、次回は、新しい委員のメンバーで、4期目の第1回地元協議会を開催することになります。日程につきましては、正副管理者が出席をいたすということか

ら、申しわけありませんが、期日の指定をさせていただきたいと思います。次回の4期目の第1回地元協議会は、11月10日を予定しております。

会 長 : 報告のとおり、ご確認をいただきたいと思います。日程は11月10日ということであります。

以上をもちまして、全ての議題が終了いたしました。

何かございますか。J委員からどうぞ。

J委員 : ふじみで出しておられるホームページのことで、ちょっと申し上げたいんですけれども、そのうちの環境データというのが掲載されていまして、それを見ますと、ここにある資料2-2がほとんど掲載されているわけですね。それに限られているような感じがするわけです。ご存じのとおり、我々、そちらでは連続データも当然とっているわけですね。それからもう1つは、きょうも報告がありました。2-2の表、2か所で大気質のデータもとっているわけです。この2つ、連続データと2か所でとっているデータは、ホームページには掲載されていないんですね。

それで、連続データは非常に重要だ。私どもも非常に注目しておるわけですね。特に水銀問題なんかで注目していて、我々もフォローしているわけです。だから、今のホームページの環境データによると、過去のことですけれども、2年間にわたってとまったという事実が載っていないわけですね。そういうことがありますので、ぜひ連続データを、何らかの形でまとめていただきたいと思うんですよ。以前ソフトと関連があるやに聞いておりますので、金のかからない範囲でいいんですけれども、やはり初年度と2年目はこういうことでとまったんだ、停止したんだというような事実も残しておく必要があると思いますし、ぜひ考えていただきたい。

それともう1つは、私どもの要求で、毎年大気質、夏と冬に年2回ずつはかかっていて、そういうデータもやっぱり載せるべきではないのかなと思いますので、考えていただきたい。

以前にちょっとこのような話をしたときに、業務報告を考えていますというような話もちらっと聞いたようなことがあるんですけれども、そういう形でもいいんですが、とにかく連続データなり何なりがどういう傾向を示して、どういう事態が発生したのかというようなことがわかるように考えていただけたらと思いますので、提案でございます。

D委員 : ただいま、J委員から貴重なご意見いただきました。ご意見を反映できるような形で、ホームページをつくりたいと思っております。よろしく願いいたします。

E委員 : 私のほうから2つお願いがあるんですけれども、発電効率については、今までつくりましたので、それをぜひ続けていただきたい。その狙いは、原単位の時にも話しましたように、運転の仕方を一応チェックするという意味合いが大きいので、ぜひ続けてもらいたい。この前、17.1という数字をD委員が言われたときに、国の交付金の関連で17.1というふうに言われたと思うんですが、そのときは発電率なんですね、発電効率ですか。で、先ほど出てきたものが発電

端効率ですね。多少違うんですね。私は発電効率のほうが、いろんな形でデータが出るので、いいのかなと。ただ、1か月1回という形で、発電端効率も、全体を把握するにはいいので、ぜひその2つは出していただきたいなど。意味合いは、熱量関係の話になると、もうそれしかないんですよ。だから、発熱量とかごみの発熱量の性質とかという部分は常に把握されているのがベストかなと思うので、ぜひそれはお願いしたいし、今までの考え方で、私はいいと思うんですけども。

あと、訂正みたいな形でお願いしたい部分は、シミュレーションというのがあります。そのことについては検討はないんですけども、ただ、今、議事録に載っかっている部分は、経産省の型番が載っているんですね。あれは経産省のほうでも認めていない部分があるので、ぜひ訂正されたほうがいいのかなと思いますし、で、それにかわるものを、もしか持っておられるのだったら、それを公表するほうがいいと思うし、あれは何らかのときに拡散という部分を保障するために、しなければならぬけれども、ただ、水銀のときには、やむなくやってきたのだと思うんですよ。だから、ベースが何も無い中で、これでやりました。その中で、安全衛生委員会の委員の方も、事務局がやったので、我々はそこは手を出したくないねというふうな話で言われたので、実はそうではなくて、一番住民に直結する話になるので、できれば、もっと基礎的なところから、時間があるときに詰めていきたいなと思いますので、ぜひ訂正と、それから、今後使うのであれば、その基本的な考え方とかという部分を公表してもらいたいなと思います。

会 長 : はい。

D委員 : いろいろご意見をいただきました。この場ではなかなか詰められませんので、またふじみ衛生組合と直接話し合いの機会を設けますので、そのときにまたE委員のご意見、丁寧に伺って対応したいと思います。よろしく願いいたします。

会 長 : よろしいですか。

それでは、A委員どうぞ。

A委員 : 以前にも申し上げたと思いますけれども、次回は新しい委員で行われると思いますけれども、その前に、新しい委員の方に、事前にふじみ衛生組合でガイダンスをなされるという話を、前も聞いたことがある。同じようなことをもう1回申し上げるんですけども、できましたら、そういう席に住民サイドの、住民からの委員も一緒に出席させていただくととてもいいのではないかなと思います。この協定等の説明がおそらくガイダンスされるのではないかと思いますので、住民サイドもそういう話と一緒にいければいいと思います。やはり委員が年々歳々かわっていきますので、最初の委員、2回目の委員というのはだんだん残り少なくなる。私の横にいたB委員も第1期からの委員だったんですけども、お亡くなりになるという事態も。ここを見渡しますと、高齢者ばかりですので、やはりつないでいかなきゃいけないというように思いますので、その辺、ご配慮よろしく願いいたします。

会 長 : 何か計画についてありますか。

事務局 : 新しい委員さんへの勉強会ですけれども、10月20日火曜日、午後2時、ふじみ衛生組合において行いたいと考えておりますので、今現在委員の方等も含めて、ぜひご出席いただければと思います。よろしく願いいたします。

会 長 : ただいま報告がありました。私も a 副会長も出席をして、勉強の様子をみながら、一緒に勉強したいと思っていますので、つけ加えて申し上げておきます。

それでは、これをもちまして、きょうの会議を終わりにしたいと思いますが、今の委員の方は、きょうが最後の地元協議会ということになります。この2年間、水銀の問題や、今も E 委員からご意見いただきましたけれども、発電問題の効率を考えた焼却のやり方や、いろんな議論をいっぱいさせていただきました。議長がまずいものですから、いたずらに長時間を要した会議も幾つかありましたが、中身の濃い議論ができたんだと思って、おわびをしながら、また有効な議論ができたんだなということを確認しながら、皆さんにお礼を申し上げたいと思っています。

任期自体はまだ11月3日まで、皆さん任期でありますので、あまり考えたくないですが、不幸な事態が発生すると緊急の招集ということもあるかと思いませんけれども、そういうことは大体ないだろうと思いつつ、きょうが最後だということ、2年間ご苦労さまでした。ありがとうございました。

それでは、これで閉会といたします。

－ 19 : 15 散会 －